

科学実験WG

三浦 篤義

本年度も昨年度に引き続き“小学生を対象にした「おもしろ科学実験教室」”を円滑に実施するために様々な活動を行った。この活動も5年目となり、学内外ともに知れ渡る様になって来ている。

募集方法も昨年度に引きつづき今年度も、「おもしろ科学実験教室のご紹介」パンフレットを作成し大分・別府市内の各小学校に市教育委員会事務局を通じて配布を行った。また、今年度も工学部の学生5名と教育福祉科学部の小中学校等の先生を目指す8名の学生を補助学生として参加し、ソフトな感じで小学生と接することが出来た。

活動費としては、地域開放推進事業（Jr.サイエンス事業）から《小学生を対象にした「おもしろ科学実験教室」「ものづくり教室」》の事業名で49.5万円の活動費を獲得でき実験機材の購入、補助学生の謝金、マイクロバス代などの経費に当てた。

実施については、小学校等で9校と県からの依頼である「青少年科学体験スペース0-Labo」を2回行い、計11回の実施となった。また、「青少年のための科学に祭典」1回と鳥取大学工学部技術部の「被災地における理科支援事業」3回に技術部から技術職員を派遣協力し、合計15回実施する事が出来た。

小学生からのアンケートの中には、科学に関心を持った多くの感想も寄せられた。ほんの一部であるが「ふしぎな体験ができてよかった」、「いろんな実験で科学でも、こんなにおもしろいのがたくさんあると知ってよかったです。」「する前はそんなに科学はスキじゃなかったけど、した後は科学が大スキになりました」「理科はやっぱり楽しいです。」「いろいろな実験に参加して、自分が思った事とは、全くちがう結果になったり、どうしてそうなるのかなあと考えたりして、とても良い思い出になりました。」など科学が好きになった記述があった。

以下は活動記録である。

月 日	内 容
平成 24 年	
5 月 10 日	石巻市立開北小学校【被災地における理科支援事業（鳥取大学工学部技術部）】
5 月 11 日	石巻市立湊小学校【被災地における理科支援事業（鳥取大学工学部技術部）】
5 月 11 日	石巻市立中里小学校【被災地における理科支援事業（鳥取大学工学部技術部）】
6 月 26 日	大分市立駕野小学校【第1回おもしろ科学実験教室実施】
7 月 5 日	佐伯市立西浦小学校(36名), 楠本小学校(8名)【第2回おもしろ科学実験教室実施】
7 月 27 日	県主催「科学体験実証スペース0-Labo（大分市）」参加・協力
8 月 27 日	県主催「科学体験実証スペース0-Labo（大分市）」参加・協力
9 月 11 日	大分市立坂ノ市小学校【第3回おもしろ科学実験教室実施】
10 月 30 日	大分市立荏隈小学校【第4回おもしろ科学実験教室実施】
11 月 1 日	別府市立春木川小学校【第5回おもしろ科学実験教室実施】
11 月 6 日	別府市立南立石小学校【第6回おもしろ科学実験教室実施】
11 月 13 日	大分市立津留小学校【第7回おもしろ科学実験教室実施】
11 月 17 日	青少年のための科学の祭典大分大会（大分高専）
12 月 11 日	別府市立石垣小学校【第8回おもしろ科学実験教室実施】
12 月 14 日	別府市立西小学校【第9回おもしろ科学実験教室実施】

【平成24年度 工学部技術部 科学実験教室 開催実績】

実験名	開催数	実験形式	児童参加人数
おもしろ科学実験教室 (大分市内小学校4校) (別府市内小学校4校) (佐伯市内小学校1校)	9回	演示形式 1回	44名
		演示形式+ブース形式 7回	568名
		授業形式 1回	38名
「被災地における理科支援事業」 (宮城県石巻市内小学校3校) 主催：鳥取大 共催：東北大、名工大、岡山大、 大分大	3回	演示形式+ブース形式	499名
「青少年のための科学の祭典(大分市)」参加協力 (主催：日本科学技術振興財団・科学技術館)	1回	演示形式 (2タイトル出展)	1205名 (全体)
「科学体験実証スペース O-Labo)」 参加協力 (主催：大分県教育委員会)	2回	演示形式+ブース形式	40名

おもしろ科学実験教室パンフレット

大分大学工学部技術部科学実験隊による

おもしろ科学実験教室のご紹介

～子どもたちに科学の楽しさを伝えたい～

大分大学工学部技術部科学実験隊は、子どもたちに実験を通して科学の楽しさ、面白さ、不思議さを体験させることで、科学分野への興味、関心を促すことを目的として、大分市・別府市などの小学校で『おもしろ科学実験教室』を開催しております。平成20年度から活動を開始し、開催数はこれまでに25回以上です。



おもしろ科学実験教室では、小学校の理科では取り扱えない専門的な実験や、身近にある道具を利用して、子どもと保護者が家庭でも一緒に楽しみながらできるような実験など、様々な科学実験テーマを用意しております。



科学実験隊の隊員は、科学技術における各分野の専門知識や高度な技術を駆使し実験を考案・実施する技術職員と、実験を補佐する大分大学の大学院生・大学生とで構成されており、科学実験を通して広範囲にわたる知見を提供できます。

おもしろ科学実験教室の実施方針

- おもに平日の授業時間中に実施します。授業の一環としてご活用ください。
- 実験に必要な器材はすべて持参します。場所と長机をご用意ください。
- 会場設営から撤去まですべて行います。先生方へのご負担はございません。

実験の形式


授業形式


ブース形式


演示形式

実験テーマの例


液体空素


空気砲


人エイクラ


パネ電話


偏光板


自走式ロボット


地球ゴマ


エタノールロケット

小学校以外での活動実績 (ものづくり教室)

- ・O-Labo (大分県子ども科学体験実証施設)
- ・まなびの広場サイエンスフェスタ
- ・青少年のための科学の祭典
- ・おおいだ協働ものづくり展

詳しい情報は 大分大学工学部技術部科学実験隊ホームページで公開しております。
<http://gijutsu.cc.oita-u.ac.jp/jikken/toppage.html>

おもしろ科学実験教室 依頼受付窓口

大分大学 研究・社会連携部 社会連携推進課
 電話 (097) 554-0533 または 554-7430
 E-mail: tiren@oita-u.ac.jp
 電話またはメールにて申込みを受け付けます。
 ※平成23年度は10校程度の小学校にて実施させて頂きたいと考えております。

